

## 明日を担う若手職員を紹介します！

No.2 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター 技師 田村拓己さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第2回は、沿岸広域振興局宮古土木センターの田村技師です。

### Q1 担当している仕事を教えてください

平成 19 年度入庁

宮古地方振興局土木部(現 宮古土木センター)道路環境チームにて2年間道路維持を担当

【現在】宮古土木センター4年目

3年目からは河川砂防チームで主に河川、砂防施設の維持管理を担当しています。最近、最も印象深い現場は薬師川(旧川井村)神楽砂防えん堤からの土砂流出防止対策工事です。



### Q2 仕事の面白いところは何ですか？

地震や大雨などの緊急時に誰よりも早く現場に行き、管理施設に影響が無いか調査したり、異常があれば交通規制等を行ない、県民に対する危険や負荷を軽減し、気づいたら夜が明けていた、という瞬間に非常にやりがいを感じます。

### Q3 仕事の難しいところは何ですか？

施設を新規でつくる場合には、今後何十年か先に修繕する時のことを考えて施工するというのは非常に難しい事だと感じています。

### Q4 どんな職場ですか？

20代、30代の若手職員が半分以上を占めているので、いつも話題に事欠かない職場です。仕事はもちろんですが、昨年度に引き続きヤングパワー全快で、仕事はもちろんのこと、県土整備部長杯サッカー大会2連覇も目指してガンバります！！

### Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

型にとらわれず、いつでも前向きに規格外で頑張りたいと思います！！



職場の様子。左が私、右は公私ともどもいつも厳しく、ごくまれに優しく指導して下さる、港湾海岸チームの菊地技師です。